

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記

令和5年度病害虫発生予報第2号(5月)
令和5年度病害虫発生予察注意報第1号
令和5年度病害虫発生予察注意報第2号

担 当 環境基盤研究部病害虫防除室
電 話 0561-62-0085
内 線 471
ファックス 0561-63-7820

令和5年度病害虫発生予報第2号(5月)

令和5年4月28日
愛 知 県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イネ	いもち病 (苗いもち)	平年並	県全域	前年の穂いもち発生量は平年並	±
	イネミズゾウムシ	やや多い	県全域	前年6月下旬の本田発生量はやや多い 前年の予察灯における誘殺数は平年並	+ ±
ムギ	うどんこ病	多い	県全域	4月下旬の発生量は多い	+
	赤かび病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 前年5月下旬の発生量は多い 5月の降水量は平年並か多い	± + ±~+
	さび病類	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い	+

・防除対策

[イネ・イネミズゾウムシ]

アレス箱粒剤、フェルテラ箱粒剤などを用いて箱施薬を行いましょう。

[ムギ類・うどんこ病]

本日発表の「令和5年度病害虫発生予察注意報第1号」を参考にしてください。

[ムギ類・赤かび病]

本日発表の「令和5年度病害虫発生予察注意報第2号」を参考にしてください。

[ムギ類・さび病類]

さび病類が発生しているほ場では、うどんこ病や赤かび病の防除の際に、さび病類に

も適用のある薬剤を選択するなどして防除しましょう。

・留意事項

スクミリングガイの発生が確認されているほ場では、薬剤散布を行う等、防除を行いましょう。詳細は、4月4日発表の「スクミリングガイ情報第1号（水稻）」を参考にしてください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	そうか病	やや多い	県全域	3月の越年発病葉率はやや高い	+
	ミカンハダニ	やや多い	県全域	3月上旬の発生量は平年並 5月の気温は高い	± +
ナシ	黒星病	やや多い	県全域	4月上旬の花そう基部の発病率は平年並 4月下旬の発病葉率は平年並 5月の降水量は平年並か多い	± ± ±～+
	アブラムシ類	平年並	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の気温は高い 5月の降水量は平年並か多い	- + ±～-
モモ	黒星病	平年並	県全域	4月下旬の発病枝は確認していない 5月の降水量は平年並か多い	- ±～+
	せん孔細菌病	平年並	県全域	前年の発生量は少ない 4月下旬の発病枝率は平年並 5月の降水量は平年並か多い	- ± ±～+
	ナシヒメシンクイ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	+
	モモハモグリガ	平年並	県全域	4月下旬現在、被害を確認していない（平年並） フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
ブドウ	黒とう病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の降水量は平年並か多い	± ±～+
	べと病	やや多い	県全域	前年の発生量は平年並 5月の降水量は平年並か多い	± ±～+
カキ	炭疽病	やや多い	県全域	前年秋の発生量はやや多い 5月の降水量は平年並か多い	± ±～+
	うどんこ病	やや少ない	県全域	前年秋の発生量はやや少ない	-
果樹共通	カメムシ類	やや少ない	県全域	チャバネアオカメムシの越冬世代成虫密度はやや少ない	-

・防除対策

〔ウンシュウミカン・そうか病〕

3月16日発表の「カンキツそうか病情報第1号（ウンシュウミカン）」を参考にしてください。

〔ウンシュウミカン・ミカンハダニ〕

トモノールSなどで防除しましょう。なお、カンキツそうか病防除などで開花期以降にデランフロアブルを使用する場合は、マシン油乳剤との散布間隔を30日以上空けるようにしましょう。

〔ナシ・黒星病〕

本日発表の「ナシ黒星病情報第1号」を参照してください。

〔モモ・ナシヒメシンクイ〕

越冬世代成虫の誘殺数が多かったため、次世代以降の誘殺数も多くなる可能性があります。トラップ調査データ（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>）を参考に、早めの防除を心がけましょう。また、4月17日発表の「ナシヒメシンクイ情報第1号（モモ）」を参考にしてください。

〔ブドウ・黒とう病〕

本日発表の「ブドウ黒とう病情報第1号」を参照してください。

〔ブドウ・べと病〕

アリエッティC水和剤やジマンダイセン水和剤などで防除しましょう。

〔カキ・炭疽病〕

デランフロアブル、ジマンダイセン水和剤などで防除しましょう。

・留意事項

有効積算温度を利用して各種害虫の防除適期を予測しました。

チャノキイロアザミウマは表の通りです。防除対策については4月21日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第1号」を参照してください。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（4月28日計算時点）

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/14	5/13	5/8	5/9	5/13	5/14	5/9	5/11	5/14	5/11	6/7
（前年）	5/17	5/16	5/12	5/13	5/15	5/18	5/13	5/14	5/18	5/15	6/7
前年差	3日早	3日早	4日早	4日早	2日早	4日早	4日早	3日早	4日早	4日早	±0
第2世代	6/11	6/13	6/6	6/5	6/12	6/12	6/8	6/10	6/13	6/10	7/6

カイガラムシ類の防除適期は、ナシマルカイガラムシは5月20日から5月27日（おおむね前年並）、フジコナカイガラムシは5月25日から6月2日（おおむね前年並）と予測しています。今後の気温経過で発生ピーク日が前後するため、5月中旬頃にこれら害虫について、最新の気象データを用いて計算し直し、防除適期に関する情報を提供する予定です。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の気温は高い 5月の降水量は平年並か多い	－ ＋ ±～－
タマネギ	べと病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
トマト (施設)	黄化葉巻病	多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い 4月下旬のコナジラミ類の発生量が多い	＋ ＋

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナス (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い 5月の日照時間はほぼ平年並	+ ±
	ハダニ類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
	アザミウマ類	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない	-
キュウリ (施設)	べと病	少ない	県全域	4月下旬の発生量は少ない 5月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	灰色かび病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	アザミウマ類	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない	-

・防除対策

[タマネギ・べと病]

リドミルゴールドMZ、ピシロックフロアブルなどで防除しましょう。作付けが終了するほ場ではべと病に感染したタマネギの残さを適切に処理しましょう。

[トマト・黄化葉巻病(コナジラミ類)]

コルト顆粒水和剤、ボタニガード水和剤、サフオイル乳剤などで病原ウイルスを媒介するタバココナジラミを防除しましょう。

[ナス・灰色かび病]

ベルコート水和剤やフルピカフロアブルなどで防除しましょう。

・留意事項

果菜類の灰色かび病は、多湿条件で多発するので、過剰なかん水を避け、換気を図るなど施設内が多湿にならないようにしましょう。発病が見られるほ場では、発病果や発病葉を速やかに取り除き適切に処分しましょう。

ミナミキイロアザミウマが媒介するキュウリ黄化えそ病(病原:MYSV)、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病(病原:TYLCV)及びキュウリ退緑黄化病(病原:CCYV)、タバココナジラミ及びオンシツコナジラミが媒介するトマト黄化病(病原:TOCV)が発生しているほ場では、次作への伝染を防ぐために、栽培終了後、植物残さをほ場外に持ち出す前に施設を密閉して、媒介虫を死滅させましょう。

花き

・留意事項

キク(露地)では、白さび病の発生があるほ場では、発病葉を早めに除去するとともに、系統の異なる農薬でローテーション散布をしましょう。フェロモントラップでのオオタバコガの捕殺が多くみられ、発生が早い傾向にあります。ほ場で発生を認めたら防除しましょう。また、今後はアザミウマ類やハダニ類が増加する時期になります。本ほと親株床を含めた防除に努めましょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」(アドレス:<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.html>)、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」(アドレス:<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>)を参照してください。

【参考】東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台4月27日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並みまたは多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は高い確率60%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%